



信頼が大きな力

今回みみタロウは、建築施工会社「未来コーポレーション」を訪問し、代表のシン ブランドラ マンさん（守山市）にお話を伺いました。



ネパールから留学生として来日し、17年になります。観光旅行で広島平和記念資料館を訪れ、壊滅的な状況から復興をとげた日本の力に感銘して留学を決めました。大阪の日本語学校で一年間日本語を勉強した後、日本の優れた建築を学ぼうと大学では建築を専攻しました。建築学部では授業が厳しく、1、2年生の頃は、言葉の問題だけでなく、勉強面でも製図や漢字をきれいに書けずに随分苦労しました。また学生生活の間、焼肉屋とホテルでのバイトを掛け持ちで続け、忙しい日々でしたが、人情豊かな大阪の人々に囲まれ、友達も沢山できました。卒業後は大手の建築会社に就職し、設計施工管理部門に配属されて、滋賀勤務になりました。そして12年ほど勤めた後、昨年、守山市内で自分の会社を立ち上げ、自宅の隣に事務所を作りました。滋賀は自然災害も少なく、ゆったりと生活を楽しめる土地柄で、妻も近所の方々に英語を教え、子ども達も近くの学校に通っています。独立当初不安もありましたが、おかげ様で口コミでお客様も増え、忙しくさせていただいています。

私の会社では水回りなどの小さな仕事から家屋や店舗の設計施工、リフォームなど広く請け負っています。外国人が日本で働く上で、日本の言葉や文化をよく知ることは不可欠ですが、特に日本の常識やマナーを考へながら行動することが大切だと思います。私の場合、来日後は日本人ばかりの中で暮らしてきたので、日本文化に違和感はなく、外国にいる感覚はありません。もちろん仕事の面では、しっかり日本のきちんと丁寧に仕上げないと、お客様と長くお付き合いさせていただけません。また、お客様への対応だけでなく、様々な分野の職人さんと

共同で作業を行いますので、私の頭の中は日本人と同じでないと仕事が進みませんし、また私を外国人だと思って仕事をする人もいません。その他、様々な作業を統括する上では、実際の作業についての知識と技術がないと職人さんに細かな指示が出せません。その点、会社勤めの間様々な経験を積ませていただいたことが役立っています。

実際、建築の仕事には、現場でのきつい汚れ作業も沢山あります。私自身、建築学部を卒業して会社でスーツを着て設計をするイメージを持っていたので、時には何のためにこんな作業をしているんだろうと迷う時期もありました。そんな時、妻から「何のために頑張って大学で勉強してきたの」と励まされ、気持ちを立て直したこともあります。これまでやってきて思うのは、今の仕事ももっと良くなるよう努力していくと、その先、何か喜びがあるのではないかとことです。皆さんにもそれぞれ目標があると思いますが、そこまでの道のりは様々で、たどり着けないこともあるかもしれません。そんな時でも今の道を精一杯歩み、どの人も自分で道を切り開いて進んでいかなければなりません。そして、その土台となるのが勉強なので、特に青少年の時期は将来の道を広げるためにも、勉強の機会を大切にしてほしいですし、留学生の皆さんもアルバイトばかりして目的を見失うことがないように、日本でしか得られない技術や経験を身につけていただきたいと思います。私もまた、仕事の傍ら、一級建築士の資格を目標に勉強中です。

ネパールからやって来て、これまで人間関係に恵まれたおかげでここまでやってこれました。そしてこの「人」との絆が私が大切にしている宝物です。仕事でも、小さな仕事をいただいたお客様からだんだん大きな仕事をいただいたりすることもあって、お客様からの信頼に応えることが私に力を与えてくれます。人との信頼を育むのは大変ですが、それを壊すのは一瞬です。これからもいただいた一つひとつの信頼に十分応えられるよう頑張ります。